

子ども読書活動推進のための活動目標(案)
【令和3年度版】

活動目標設定の趣旨

市では、更なる子どもの読書活動の定着を実現するため、平成29年に「第3次中野市子ども読書活動推進計画」（以下「推進計画」という。）を策定しました。

活動目標は、前年度の推進計画の実施状況調査アンケートで得られた結果に基づいて、子ども読書関係機関で重点的に取り組んでもらいたい施策を「活動目標」として設定したものです。

子ども読書関係機関では活動目標を参考に、今年度の子どもの読書活動を推進していただきますようご協力をお願いします。

活動目標の対象

活動目標の対象となる子ども読書関係機関は、下記の4か所です。

- ① 子育て支援センター・児童センター・放課後児童クラブ
- ② 幼稚園・保育所・認定こども園
- ③ 小・中学校
- ④ 市立図書館

実施状況調査結果と活動目標

① 子育て支援センター・児童センター・放課後児童クラブ（14施設）

質問項目	実施状況	
	実施	未実施
地域での読み聞かせの推進	10	4
家庭での子ども読書活動の推進	10	4
読み聞かせボランティア情報や読み聞かせイベント情報の発信	12	2
家庭での子どもの読書活動推進に向けた普及・啓発活動	9	5

・全体的に外部への読み聞かせ依頼は減少したが、職員による読み聞かせ、読書活動の様子をおたよりで配布し、読書活動を呼びかけた。

・市から配布される読み聞かせイベントの情報の掲示、チラシ配布をすることで、家庭に向けて読書に関する情報発信を行った。

・市立図書館の団体貸出を利用して本を借り、借りた本を職員が児童に向けて読み聞かせることにより普及・啓発を行った。

【令和2年度活動目標の実施状況】

(1) 地域での読み聞かせの推進
新型コロナウイルス感染症の影響で、ボランティア等外部の人を招いての読み聞かせの機会は減りましたが、職員が読み聞かせ等を実施し、読書に親しむ機会を作りました。

(2) 家庭での子ども読書活動の推進
家庭でも本に親しめるように活動の中で年齢や発達に合わせた本を紹介したり、読書の楽しさや大切さを伝えるようにしました。

【令和3年度の活動目標】

(1) 地域での読み聞かせの推進
施設の中で職員や読み聞かせボランティア等による、読み聞かせを実施して、おはなしや本に親しむことができる機会を作りましょう。

(2) 家庭での子ども読書活動の推進、及び普及・啓発
団体貸出などを利用しての絵本の貸し出し、施設での絵本の紹介をとおして家庭での読書活動を推進しましょう。また、職員による読み聞かせ、図書館訪問などを実施し、読書活動の普及・啓発を行うようにしましょう。

② 幼稚園・保育所・認定こども園（14園）

【アンケート結果】			実施状況
質問項目	実施	未実施	
おはなしの楽しさを知る機会の充実	13	1	【令和2年度活動目標の実施状況】 ・家庭への絵本の紹介や貸出 園のおたよりや園内の掲示により、家族へ絵本の紹介を行いました。また、絵本の貸出については、新型コロナウイルスの影響に受けましたが、多くの園で定期的に行われており、家庭でより多くの種類の本を手にしてもらえるよう支援されました。
家族への読み聞かせに関する情報の発信	10	4	
読書スペースや蔵書の整備・充実	14	0	
家庭への絵本の紹介や貸出	14	0	
市立図書館との連携による子どもの読み聞かせ等の環境づくり	14	0	
・各園が工夫をしながら読み聞かせ等の時間を作り、実施することができた。 ・蔵書の点検や図書コーナーの設置など、本に親しむ環境を整えている。 ・団体貸出や図書館訪問、図書館司書の読み聞かせなど図書館と連携が図られている。			【令和3年度の活動目標】 ・家庭への絵本の紹介や貸出 おたよりの配布などをとおして絵本の紹介を行い、園内の絵本の貸出を行うことで、日ごろから家庭でも子どもが本を手にする環境を作れるように、家庭への絵本の紹介や貸出に努めましょう。

③ 小・中学校（11校）

【アンケート結果】			実施状況
質問項目	実施	未実施	
「一斉読書」や「読書時間」による読書習慣の確立	11	0	【令和2年度活動目標の実施状況】 (1) 「一斉読書」や「読書時間」による読書習慣の確立 全ての学校で「一斉読書」や「読書時間」が実施され、児童・生徒が読書をする習慣づけが行われました。 (2) 「家庭読書週間」*をとおした家庭での読書の推進 多くの学校で読書カードを利用した取り組みが行われました。また、家庭におたよりを発行したり、保護者からコメントをもらうなど、家庭を巻き込む取り組みが行われました。
学校図書を利用した学習活動の充実	10	1	
学校図書館の読書スペースや蔵書の計画的な整備	11	0	【令和3年度の活動目標】 (1) 読書指導（読み聞かせやブックトーク等）の充実 外部ボランティアや教職員による読み聞かせを実施し、児童・生徒が本を身近に触れられる機会を設けられるように努めましょう。 (2) 「家庭読書週間」*をとおした家庭での読書の推進 「家庭読書週間」や学校での「読書旬間」など本に親しめる期間を設けて、家庭でも読書の必要性を理解してもらい、児童・生徒が家庭でも進んで読書をする意識がもてるように努めましょう。
読書指導（読み聞かせやブックトーク等）の充実	9	2	
「家庭読書週間」をとおした家庭での読書の推進	9	2	
研修会の実施	6	5	
・全ての学校で「一斉読書」等の読書をする機会を設けており、読書を習慣づける取り組みが行われていた。 ・教職員やボランティアによる読み聞かせが9校で実施され、本に親しんでもらうための取り組みが行われた。 ・研修会の実施は、時間の都合や他の研修会があり、参加が難しいとの意見があった。			

※【家庭読書週間】 市では独自に、毎月23日を含む日曜日から土曜日までの1週間を、家族で読書活動に取り組んでもらうため「家庭読書週間」を実施しています。

④ 市立図書館

【アンケート結果】		【令和2年度活動目標の実施状況】
項目	実施状況	
子どもの読書を支える人の育成や支援	実施	<p>・「おはなし会」や「読み聞かせ会」の開催及び支援</p> <p>新型コロナウイルスの影響で図書館への施設見学、司書による読み聞かせなどの回数は減少しましたが、市立図書館と子ども読書関係機関、読み聞かせボランティアが連携して、「おはなし会」や「読み聞かせ会」を開催されました。また、図書館司書を派遣した読み聞かせや子ども読書関係機関への団体貸出などの読書活動に親しむための事業やそのための支援が行われました。</p>
団体貸出の充実	実施	
蔵書の充実	実施	
子ども向けの読書スペースの充実・整備	実施	
「おはなし会」や「読み聞かせ会」の開催及び支援	実施	
関係施設や県立図書館との連携による子ども読書活動推進事業の展開	実施	
子ども読書活動の広報・啓発活動	実施	
活字による読書が困難な子どもへの支援	実施	
「ブックスタート事業」による読み聞かせの推進	実施	
<ul style="list-style-type: none"> ・団体貸出 利用団体数：41 団体 利用冊数：5,392 冊 ・令和2年度児童書購入冊数（全館）：1,305 冊 ・0～3歳のおはなし会 実施回数：38 回 参加人数：376 人 ・図書館見学及び読み聞かせ 実施回数：3 回 参加人数：79 人 ・絵本読み聞かせ出前事業（14 園） 実施回数：33 回 参加人数：3,245 人とうや ・ブックスタート事業（毎月1回） 実施回数：11 回 参加人数：274 人 ・フォローアップ（セカンドブック）事業（毎月1回） 実施回数：11 回 参加人数：337 人 		

中野市子ども読書活動推進連絡会議による推進計画の実施

中野市子ども読書活動推進連絡会議は、推進計画を効果的に進めるため、読書ボランティア、教育、保育、子育て支援及び図書館関係者、公募に応じた市民の合計 15 名の委員で組織されている会議です。

毎年度、推進計画がどのくらい達成されたか、子ども読書関係機関へアンケート調査を実施し、会議で調査結果に基づいて、成果や課題を検討・協議し、次年度に重点的に取り組んでもらいたい活動目標を設定します。

子ども読書活動推進のための活動目標【令和3年度版】

発行 令和3年 月

発行者 中野市子ども読書活動推進連絡会議

編集者 中野市教育委員会事務局生涯学習課 生涯学習推進係
(中野市子ども読書活動推進連絡会議事務局)

電話 0269-22-2111 (内線 423)

ファックス 0269-22-5901

Eメール shogai@city.nakano.nagano.jp